

平成26年人口動態統計速報値（概数）による 母子保健の水準とその対策について

1 平成26年人口動態統計速報値

		H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6
周産期 死亡率 ※	死亡率	4.6	4.3	4.4	4.0
	死亡数	27人	25人	25人	22人
	順位(ワースト)	9	13	8	16
新生児 死亡率 (生後4週 未満の死亡)	死亡率	2.5	1.9	2.5	1.6
	死亡数	15人	11人	14人	9人
	順位(ワースト)	1	2	1	2
乳児 死亡率 (生後1歳 未満の死亡)	死亡率	5.1	4.4	4.2	3.5
	死亡数	30人	25人	24人	19人
	順位(ワースト)	1	1	1	2

※周産期死亡率：妊娠満22週以後の死産＋早期新生児死亡（生後1週未満の死亡）

2 対策

平成26年の乳児死亡例を原因分析・対策を検討

平成25年度から周産期医療協議会に専門部会を設置し、乳児死亡の症例を検討しているが、平成26年度の部会では、検討の結果、多胎妊娠や胎児のスクリーニング等に関する対策が挙げられ、その体制の整備・充実等に取り組んでいる。

平成27年度も引き続き調査を実施し、妊娠時から乳児期までの対応について検討する。

周産期医療協議会専門部会報告等を受けた各種対策を実施

○胎児超音波スクリーニング体制の整備・拡充

胎児の異常等を早期発見・診断し、予後の改善や救命を図るため、平成26年度から胎児超音波スクリーニング体制の整備・拡充に努めている。

平成27年度は、徳島大学病院において専門機器を整備し、人材育成に取り組むことにより、県全体での周産期医療連携体制の整備を図る。

○妊婦の喫煙対策を強化

市町村保健師が行っている家庭訪問等による妊婦及び家族への禁煙指導の徹底を図るとともに、効果的な指導が行えるよう、平成26年度から実施している専門的な禁煙指導研修会を平成27年度も開催する。

新 ○普及啓発

・葉酸摂取

先天異常の発生を減らすため、妊娠前からの葉酸摂取について普及啓発を図る。

・RSウイルス感染症対策

RSウイルス感染症による死亡を減少させるため、小児科医、産科医に対し、その危険性について注意喚起をするとともに、一般への周知も図る。

徳島県・妊娠届出時における妊婦及び家族の喫煙状況

年度	妊娠届出者の数	喫煙している							妊娠して禁煙した	妊娠前喫煙していた		配偶者の喫煙	同居家族の喫煙
		人数 ①	喫煙本数					喫煙率 %	人数 ②	人数 ①+②	喫煙率 %	人数	人数
			1 ~ 10	11 ~ 20	21 ~ 30	31 以上	不明						
平成25年度	5,690	249	191	44	4	0	10	4.4	734	983	17.3	1,967	241
平成26年度	5,938	225	174	39	6	1	5	3.8	689	914	15.4	2,192	372

※平成26年度の数値は暫定値

出典：妊婦届出時における妊婦及び家族の喫煙状況調査